

平成 13 年 6 月 10 日

## 山形県遊佐町から稲苗と土壌のプレゼント

### 「友好のたんぼ」式典開催

本日 10 日（日）、JR 池袋駅西口駅前の池袋西口公園で、豊島区と山形県遊佐町の「友好のたんぼ」式典が開催された。主催：豊島区、豊島区観光協会

この「友好のたんぼ」は、遊佐町から土壌と苗と稲の栽培に必要な資材を豊島区に運び、子どもたちが田植えから栽培（収穫）を行なうことにより、子どもたちに自然体験学習の機会を提供するとともに、遊佐町特産米「ひとめぼれ」の PR を図ることを目的とする。本日の式典で田植えされた「友好のたんぼ」は、区立椎名町小学校、同長崎小学校、同要小学校の各校で子どもたちが栽培を行なうことになる。

山形県遊佐町は鳥海山のふもとの庄内平野にあって、4 千町歩におよぶたんぼが広がる自然豊かな町である。この遊佐町と豊島区との友好交流は平成 3 年から始まり、豊島区からは自然体験教室、釣りツアー、農業体験ツアー等の「区民の体験ツアー」、遊佐町からは「豊島コミュニティ祭り」「としま商人まつり」への参加（物産展、芋煮会）などを実施、さらに平成 7 年には災害時の相互応援体制を図る「防災協定」を締結した。また、平成 11 年 3 月には豊島区観光協会と遊佐町観光協会が姉妹提携を結び、これを記念して 1 昨年、昨年と豊島区観光協会から区の木であるソメイヨシノの桜の苗木を遊佐町に寄贈、遊佐町では「友好の森」として整備され、民間交流も深まっている。

今回の「友好のたんぼ」は、この「友好の桜」の返礼として、遊佐町特産米「ひとめぼれ」の苗を豊島区に寄贈するもので、ちょうど交流 10 周年の節目にもあたり、両者の友好をさらに深めるものとなった。本日の式典には、遊佐町から小野寺喜一郎町長もかけつけ、高野之夫豊島区長とともに田植え式に臨んだ。

午後 1 時から始まった式典は、地元の椎名町小学校と長崎中学校およびその卒業生からなる五若囃子で賑やかに開幕。田植え式では、高野区長と小野寺町長が並んで苗を植え、続いて五若囃子の子もたちが田植えを行なった。また、秋の収穫・五穀豊穡を願って、豊島区無形民俗文化財である「長崎獅子舞」が同保存会と私立城西大学付属中学・高等学校の獅子舞同好会の生徒達により披露された。

日曜日の午後とあって、駅前の公園でのこの催しに大勢の通行人が足を留めていた。式典終了後には遊佐町生産者団体による「ひとめぼれ」の配布が行なわれ、用意された 450 グラム入り 300 袋のお米は瞬く間になくなった。

### 詳細：地域文化課